

(様式2)

管理運営状況等の評価シート(令和5年度分)

施設所管課

健康福祉課

1 指定管理者施設概要

施設名	名称	上三川いきいきプラザ		
	所在地	上三川町大字上蒲生127-1		
指定管理者	名称	上三川いきいきプラザサポーターズ		
	代表者名	株式会社日本水泳振興会		
	住所	東京都中野区東中野3-18-12		
指定期間	令和5年4月1日	～	令和10年3月31日	5年間

2 利用実績等

(1) 利用実績

① 利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	26,879	28,714	30,232	27,733	27,943	29,597	29,192	28,820	28,480	26,494	24,006	29,480	337,570
令和4年度(B)	27,547	25,444	27,554	29,664	27,893	27,818	29,118	29,833	29,139	29,442	22,624	26,433	332,509
(A)/(B)	0.98	1.13	1.10	0.93	1.00	1.06	1.00	0.97	0.98	0.90	1.06	1.12	1.02
増減要因等	コロナ禍が明け、徐々に人々の動きも活発になり、各月の利用者は令和4年度比で毎月増加しておりますが、1月は休館日が増えたことにより、減少しています。特にマシンスタジオと浴室は前年比それぞれ1万人を超える利用者増となりました。保健センターにおいては令和4年度新型コロナワクチンの集団接種会場となっていたことから前年度比約22,000人減となっております。												

② 入館者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	29,993	31,965	36,286	33,861	33,203	36,059	34,603	31,539	32,882	29,548	26,263	35,621	391,823
令和4年度(B)	31,965	29,242	32,127	35,854	31,550	33,019	33,828	34,704	32,483	33,082	26,543	27,852	382,249
(A)/(B)	0.94	1.09	1.13	0.94	1.05	1.09	1.02	0.91	1.01	0.89	0.99	1.28	1.03
増減要因等	コロナ禍が明け、徐々に人々の動きも活発になり、全体的に前年度比増となりました。保健センターにおいては令和4年度新型コロナワクチンの集団接種会場となっていたことから前年度比約22,000人減となっております。												

③ 開館日数

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	28	28	28	28	28	28	28	28	28	25	21	28	326
令和4年度(B)	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	21	28	329
(A)/(B)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.89	1.00	1.00	0.99
増減要因等	令和4年度、令和5年度は計画通りの開館日数となりました。令和5年度から1月の休館日を年始(1日から3日)と月末(29日から末日)としていることから、令和4年度との差(3日間)があります。												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	5,166	5,292	5,070	5,359	5,393	5,450	5,304	5,386	5,296	5,515	4,670	5,539	63,440
令和4年度(B)	5,288	5,373	5,719	5,802	5,509	5,710	5,721	5,494	5,629	5,606	5,125	5,781	66,757
(A)/(B)	0.98	0.98	0.89	0.92	0.98	0.95	0.93	0.98	0.94	0.98	0.91	0.96	0.95
増減要因等	年間の収入は前年度比減となっておりますが、自主事業における実施内容の見直し(事業実施時間に合わせた占用利用)により、自主事業からの利用料金収入が減少していることが要因です。自主事業分を除いた利用料金収入としては、利用者が増加していることにより増傾向にあります。												

(3) サービス改善の状況

新たな指定管理期間となり、開館時間の見直しや新たな会員種別を設け、町民サービスの向上と経費削減の両立、利便性の向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日から感染症法上の位置付けが「5類感染症」に移行し、大きな転換点を迎えました。施設としても、上三川町の感染対策の考え方にに基づき、利用に係る制限の見直しを図り、コロナと共生した環境づくりを行ってきました。館内も折り紙をモチーフにした館内装飾や利用者参加型のイベントの実施、施設開館15年記念イベント開催、他施設でのイベントにも積極的に参加し、施設の知名度アップや地域貢献を図りました。

3 管理運営状況

(※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
基本的事項	1. 利用者の平等な利用の確保がなされたか	A	・職員は年2回の災害時等の避難誘導訓練に加え、応急手当や一次救命処置研修や各部門毎に業務別の研修を実施しました。 ・設備点検等は内容を月次点検表に落とし込み、漏れの無いよう実施しています。設備点検時の不具合は、都度修繕を実施しました。 ・町所管課等との月次ミーティングを開催し、修繕箇所の共有を行い、必要箇所の修繕を実施しています。 ・日々の巡回や研修を通じ、町とも共有を図りながら事故や災害等の危険防止対策を実施してきました。 ・施設経理担当および本社経理担当、税理士事務所により、適正な会計・経理事務を行いました。 ・開館時間の見直しによる人員配置や消耗品の在庫管理の徹底を行い経費節減に努めました。 ・収支状況は利用料収入が確保できず、厳しい状況が続いております。	A	・指定業務、自主事業ともに検査し、仕様書のとおりであることを確認した。協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容であり、適切な運営ができていた。 各業務報告書について、より正確な管理となるよう、体制を確認していただきたい。 ・修繕の実施については適正に実施することができていた。 ・研修等の職員資質向上に向けた取組みについて、積極的な姿勢を継続できている。適切な研修テーマの選定及び研修の実施となるよう今後も取り組んでいただきたい。 ・前年度と比較して改善しているが、引き続き厳しい収支状況となっており、今後も収支改善に向けた取組みが必要と考える。
	2. 職員の配置状況や勤務体制は適正であったか	A		A	
	3. 職員に対して必要な研修等を実施し、資質の向上に努めたか	S		S	
	4. 施設の利用許可・制限及び料金の徴収が適正に行われたか	A		A	
	5. 設備等の点検・修繕・検査等は適切に行われていたか	A		A	
	6. 警備業務は適切に行われていたか	A		A	
	7. 多目的広場の維持管理は適切に行われていたか	A		A	
	8. 長期修繕計画は適切に行われていたか	S		A	
	9. 事故や災害等の危険防止に対する対策が十分なされていたか	S		S	
	10. 個人情報の管理は適切に行われていたか	A		A	
	11. 適正な会計・経理事務が実施されていたか	A		A	
	12. 経費節減の取組みが行われていたか	A		A	
	13. 帳簿は適正に整備・保管されていたか	A		A	
	14. 今後も継続して運営可能な収支であったか	B		B	
取組み	15. 利用者へのサービス向上はなされたか	A	利用者ニーズに合わせ子供から大人まで参加できる事業を開催しました。また、浴室のイベント風呂は年間37,000人弱の利用があり好評でした。広告やPRについては、ホームページのリニューアルを進めており、積極的にSNS、折込チラシ、新聞や冊子の広告掲載を行い、情報発信と施設のPRに努めました。	A	・町民の健康維持・増進に繋げるため、指定管理業務・自主事業の両面から、積極的に事業に取り組んでいた。
	16. 設置目的達成に向けての取組み(事業)はなされたか	S		S	・施設のPRについても、積極的に取り組んでいた。実施した広報事業の効果検証等により、更に効果的なものとなるよう引き続き取り組んでいただきたい。
	17. 広告周知やPRにつとめたか	A		A	
効果	18. 適切な接客が行えたか	A	特別アンケートの結果において、約7割から8割以上の方より「満足」、「やや満足」との回答を頂きました。また、健康状態の変化については8割以上改善や解消、良くなった回答を得ました。心身の健康に寄与しているかの回答は9割以上の方が「感じる」、「やや感じる」の回答を頂き設置目的の達成に寄与出来ていると読み取れました。	A	アンケートにおける満足度の各項目では、「満足」、「やや満足」と回答した割合が概ね75%以上と良好な数値であったが、項目によっては前年比で数値を下げているものがあつた。 心身の健康に寄与しているかの項目は、「感じる」、「やや感じる」と回答した割合が前年度に引き続き90%を超えており、設置目的を達成できていると考える。
	19. 教室・プログラムは利用者が満足できるものであったか	S		A	
	20. 利用者が設置目的を達成していると感じる運営ができたか	S		S	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
総合評価	〔努力した点・具体的な成果〕 各施設機能の制限を元に戻し、コロナと共生した施設環境づくりを行ってきたことから利用者もコロナ禍を経て毎年増加しています。事故や事件、災害に対する必要な研修や町民に愛される施設づくりをするためのグループワーク等を行いスタッフ全体で課題に取り組み資質の向上を図りました。レストランをリニューアルし、満足度の向上を図りました。町内外のイベントに積極的に参加し、施設の様々な取り組みをPRしました。町所管課とも積極的に情報共有を行い、相互連携を図りました。		〔評価すべき点〕 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したものの、施設の安全管理という点では引き続き対策が必要な状況であったが、適正な施設運営を実施し、利用者数を前年度より増加させることができた。 アンケート結果からは、利用者が非常に高い割合で心身の健康に寄与していると感じていることが分かり、設置目的の達成に繋げる施設運営ができています。 施設運営について、スタッフ等全体で取り組んでいこうという姿勢は評価できるものであり、今後も、意識の共有を図りながらより良い施設づくりに取り組んでいただきたい。	
	〔改善すべき点〕 運営状況はコロナ禍から継続して厳しい状況となっております。設置目的を達成し、安定的な施設運営を行うためには、町や近隣施設とも連携を取りながら時代に合わせた付加価値の提供、魅力のある事業、施設環境の整備や広報活動を進めていくことで改善に取り組んで参ります。また、昨今様々な物価や賃金が上昇している中で施設運営管理経費にも影響を及ぼしております。受益者負担の原則に基づき、適正に価格転嫁をし利用料金等の改訂について検討していく必要があると考えます。開館して15年経過することから修繕箇所も増えてきておりますので、町と連携を図りながら施設の長寿命化を図ります。		〔改善指導すべき点〕 利用者数について、改善傾向ではあるもののコロナ禍前の状況までは戻っていない状況である。新たな利用者を獲得できるよう、魅力的な事業実施や効果的な広報活動が図れるよう、今後も取り組んでいただきたい。 前年比では改善傾向にあるものの、引き続き赤字決算となっていることから、収支状況は引き続き厳しい状況にある。物価上昇等による各経費の増加や、経年劣化等に対応するための修繕箇所の増加など課題は多いが、利用料金の見直し等を含め、必要な課題に対して町と指定管理者で連携して取り組んでいきたい。	

●評価基準（評価項目）

評価	評価基準
S	（優良）協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	（良好）協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	（課題含）協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	（要改善）協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準（総合評価）

判定	判定基準
優良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている